



# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2026年1月号 1月9日発行



新年あけましておめでとうございます

馬のように勢いよく、新しい1年を駆け抜けましょう！

## 飛躍の年に

今年はお休みの期間が長く、いつもよりゆったりとしたお正月を過ごした方が多かったのではないのでしょうか。

さて、今年の干支は「丙午」(ひのえうま)。『午』には「スピード」、「行動力」、「社交性」などの意味があり、『丙』は「明るい」「生命力にあふれている」等、太陽や火が持つ強いエネルギーを象徴しているのので、『丙午』は、情熱が高まり、太陽のようにエネルギーが満ちあふれる年になると言われています。

このような謂れを知ると、新しいことやあきらめかけていたことに挑戦しようとする気持ちになります。さあ、気持ちを新たに目標を立てて、元気いっぱい「飛躍」の年にしましょう！

## 1月行事予定

- 1月 8日 始業式
- 9日 短縮日課  
委員会(5, 6年)、職員会議
- 10日 休業日
- 10~14日 私立小学校造形展
- 13日 書初大会(1, 3, 6年)、クラブ  
4年生・5年生学力テスト
- 15日 書初大会(2, 4, 5年)
- 17日 縦割集会・集団下校
- 19日 仏教朝礼・任命式
- 20日 クラブ
- 21日 3年生校外学習
- 22日 5年生校外学習
- 24日 休業日
- 27日 クラブ
- 28日 校内授業研究会のためB日課
- 2月 2日 仏教朝礼



## 読みたくなるような見出しを作る

～新聞出前授業～

現在、新聞を取っているご家庭が少なくなっていると思います。我が家でも新聞を読む時間がないまま、たまってしまっていることもあります。とはいえ、新聞の大切さも知ってほしいと考え、毎年4年生が新聞出前授業を受けています。今年は、読売新聞千葉支局の支局長さんをお願いしました。

新聞記者の仕事や、新聞記事ができあがるまでに複数の人が関わっていることなど、正しい情報を届けることの大切さとご苦労を聞いた後、新聞の値段を聞いて、子どもたちからは「安い！」の声が上がっていました。

正しい情報を伝えるためには、その情報がどこから出ているのか信用できる内容なのかを明らかにし、わかりやすく伝えるためには、伝える順番を考えて文章を構成することが大切であることを教えていただきました。

出前授業の終わりにはたくさんの質問が出て、支局長さんからは出前授業をやって本当によかった、また来たいですとお話がありました。

そして、出前授業を受けてすぐ、子どもたちに変化が見られました。個人新聞の見出しを考える授業で、記事の内容を要約し、短い言葉で的確に伝えようと考えている姿が見られたとのこと。

これからの新聞作りが楽しみです。

## 5年生スキー学校

12月21～24日、5年生が志賀高原焼額山ヘスキー学校に行ってきました。①スキー技術の習得と体力の向上、②雪山の自然の厳しさの体験、③宿泊を通しての友だちとの協力が目的です。参加者全員が元気に帰ってくることができました。みんな食事をしっかり食べ、よく寝て、時間を守って行動し、楽しく過ごすことができました。

保護者の皆様には、準備や送り迎えなど、ご協力いただきありがとうございました。

## 『「あたりまえ」を「ありがとう」へ』

国府台女子学院 正門横の掲示板に、『「あたりまえだ」と言いながら、まだ不足を言っている』という1月の法語が掲示されています。児童の皆さんは、毎日、朝が来ると「あたりまえ」のように学校へ行き、授業を受け、休み時間は友だちと遊んだり読書をしたりしていると思います。しかし、もしその「あたりまえ」が、実はとても奇跡的なことだとしたら…皆さんの毎日はどう見えるのでしょうか。まずは「朝、元気に登校すること」を考えてみてください。朝起きて、制服に着替え、学校へ向かう。これは普通のことに思えますが、実はそうではありません。「身体が健康であること」「送り出してくれる家族がいること」「安全に通学できる道路や電車・バスがあること」「学校があり友だちや先生がいること」どれか一つ欠けてしまうと、今日という「日常」は成り立ちません。世界では、学校に行きたくても行けない環境(紛争・貧困・性別等)にいる子どもの状況は、小学校 10%、中学校 14%、高校 30% (unicef2023年調査)といわれています。「登校して当たり前」だと思っている日常は、実は多くの条件が奇跡のようにつながって成り立っているのです。仏教では、この「つながり」のことを「ご縁」と説き、そのつながりに気づいた時に生まれる感謝の気持ちを「おかげさま」といいます。

また、仏教には「無常(むじょう)」という根本原理の教えがあります。これは「この世界のすべては変化し続け、永遠にそのままの姿であることはない」という意味です。この「無常」である現実世界では、今ここにある幸せは決して「あたりまえ」ではないのです。滅多になく有るのが難しいからこそ、私達はそれを「有り難い(ありがたい)」と呼び、「ありがとう」と感謝の言葉を述べるのです。

最後に、児童の皆さんには「足りないもの」を探して不満を言うのではなく、今ここにある「あたりまえではない有り難いご縁」に目を向けて欲しいと思います。家族、健康、そして学ぶ機会。それらが多くの縁によって支えられていると気づいたとき、私達の心には自然と、温かな「ありがとう」の気持ちがわいてくるのではないのでしょうか。

## 今月の目標

「進んで仕事をし、後始末もしっかりしましょう。」

